



第二回セミナー 感想文

1. プラダー・ウィリー(3歳)の子の母親ですが、これからの子どもが成長するポイント、ポイントといいますが、子どもにかける言葉使いや接し方、本人の成長とともに私達も今まで以上に成長していかなければならないと思いました。
2. 田中 Dr.の「いのちの授業」感動しました。「共生型グループホーム」の取組みも私自身がグループホームの支援をしているのでとても参考になりました。
3. 「PWS におけるトータルケア」長谷川 Dr.の話も、普段の関わりの中で体験的にわかってきたことが整理された形で再認識できました。本当にありがとうございました。
4. PWS について初めて学習しました。田中先生のお話はいろんな意味で参考になりました。東條先生の話の中に、英国の PWS のグループホームの立地環境は野山の中でコンビニエンスストアは当然ありません、ということと、長谷川先生の「誘惑からの保護」ということを聞いて、現代日本の社会環境の中で、そういう環境はどこにあるのだろうか？ PWSの方にとって「誘惑から保護」してもらえる社会参加というのは、どんなモデルの中に存在するのだろうか？と考えてしまいました。まだ未熟で PWS の当事者にお会いし関わらせていただいたことがないので、とにかく当事者の人とかかわる中で考えていきたいと思いました。
5. 田中先生、長谷川先生とも、素晴らしいお話を聞かせていただき有意義な時間を持つことができました。ありがとうございました。
6. ダウン症の親で PWS を知らない親もたくさんいると思います。私もその一人だったので今日のセミナーは PWS の人たちをよく知るきっかけになりました。ありがとうございました。学校卒業後、いろいろな障害を持つ人たちと手を取り合いながら、福祉をよくしていけたらと思います。
7. 田中先生の講演は、非常に心温まるお話でした。命の大切さを改めて実感する時間であり、この研修に参加して本当に良かったです。長谷川先生の講演も、わかりやすく PWS について少し理解できたような気がします。
8. PWS のことは全くわからないまま参加しました。以前、幼稚園に勤めていた際にアスペルガーのお子さんを担当しました。全く知識・理解がないまま接してしまい、お子さんもつらかったろうし、わたしも大変でした。障害について理解してからは、彼との信頼関係も作ることができました。それからいろいろな障害について知りたかったです。本当に勉強になりました。ありがとうございました。
9. 医療制度改革の中で疾病から保健が重視する中で、子どもたちの健康を考えていきたいです。貴重な時間ありがとうございました。
10. 行政で保健師をしています。たまたま糖尿病の業務も担当しております。今日のお話で

お食事については毎日のことなので、ご家族も大変かと思いました。最近、糖尿病については県内でもいろいろなネットワークができてきていますので、そちらの方と連携して。ご家族もお勉強ができるとよいのかな、と思います。

お楽しみプログラム(協会での)で調理実習をして会食をしたりするのも(指導を聞くだけではメニューは思い浮かびにくいものです。)、お勉強だけよりは楽しいかも知れませんか。1600K カロリーでも(なら?)豪華なメニューができるかもしれませんよ。今日はよい研修会をありがとうございました。

11. PWS 児(3歳)の親ですが、まだまだ勉強すべきことがたくさんあるな、とあらためて思いました。今後の社会、生活など不安は多々ありますが、まずは家族を第一に楽しく過ごせたらと思っています。
12. 今回はじめてセミナーを紹介され参加しました。正直 PWS の障害の名もはじめてて福祉の仕事についている者として、いろいろ知る機会ができてよかったです。障害をもっている子を育ててきた親御さんの苦勞をととも感じました。もっとまわりの人に障害を理解してもらって社会の中で受け入れられる世の中に一日も早くなってほしいと感じました。
13. 「プラダー・ウィリー症候群」という名前だけしか知らなかった者です。仕事の関係で障害を持っている子どもたちへの支援にどんなことができるのか、どんなことがあるのか、と考えることがよくありますが、今日また、PWS についての記念すべき始まりのような気がいたしました。ともあれ、いつも感じることは、私は知らないことがたくさんあり、こういった研修に参加させていただくことで自分の知識のなさを痛感いたしております。今日は本当にありがとうございました。
14. 毎回、講演会に出席させていただくたび、あらためて、PWS を捉えなおしたり、普段の支援を反省したり、本当に勉強になります。どうもありがとうございました。
15. 大変わかりやすいセミナーありがとうございました。いろんな分野の人々が集い、学習する姿がいいですね。一人の親から動き出すものが一番強いことを実感しました。連携の必要性を痛感しました。
16. 田中先生の講演は大変感動いたしました。私は障害者施設(3障害の方がいます。)で働いていますが、当該施設でもグループホームを計画しています。共生型グループホームを聞いてとても理想的な体系だと感じました。しかし、資金面での問題点がかなりありそうに思いました。新潟県でも体験型の共生グループホームの計画ができればぜひやってみたいと思いました。
17. 今日は生活をする、楽しい人生を送る、という面と、医療の面から大変すばらしいお話を聴かせていただき、ありがとうございました。人として充実した人生とは何かということを改めて考える機会となりました。私の近くにいるたくさんの子どもの姿を思い浮かべ、この子たちが大人になるときに何が必要なかを教わる時間だったと思います。また、現実として医療の大切さ、親の姿勢、教師の姿勢、福祉のありかたを勉強できました。

現場の職員としてどんなサポートができるか、子どもたちが幸せになるにはどうすればよいか、日々考えていこうと思います。

18. 各講師の皆様の熱意が伝わったセミナーでした。とても心やすらぐお話しをありがとうございました。
19. 貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。PWS についての基礎的知識を持たないまま参加させていただいた私にとっても、PWS に限らずの共生について、また、どの会に参加しても課題となる、親亡き後について、改めて考えさせられました。障害について、どの障害であろうとも、福祉が少しでも良くなるように、また、理解者が多くなるように、と思うことが多々あります。私自身も一人の人間として、さまざまな人々と共生できるように、また少しでもよりよい理解者が増えるよう、周囲の人々に伝えていきたいと思っています。
20. 今回のセミナーに参加させていただいて、とても心があたたかくなりました。私はまだ未婚で出産・育児の経験はないけれど、もし生まれてきた子が障害を持ったとしても、愛情を持って育てていけるという気持ちになりました。なぜなら、今日講演をしてくださった方たちのように、あたたかく支え合える方たちがいるからです。
まだ、多くの課題があり、これからも多くの人たちに呼びかけていく必要があるのかなど、感じますが、医療と福祉の協力によって、課題への良い取組みが生まれていくと信じています。
21. 今回のセミナー、大変参考になりました。施設利用者の方でお一人 PWS の方がおられますが、チームアプローチをすぐに考えていきたいと思っています。ありがとうございました。
22. 私はダウン症候群を持っている子の母親です。PWS であろうが知的障害であろうが、人間として生まれてきているのでいろんな方たちと関わりを持ち交流を持つことによって、社会性を身につけるのではないのでしょうか？PWS でも知的障害の人でもおとなになり自立をしていく時期になると、親として悩み本人も親も、またひとつ経験をつんで研鑽していかなければならないのでしょうかね。